

1年次セミナープロジェクト

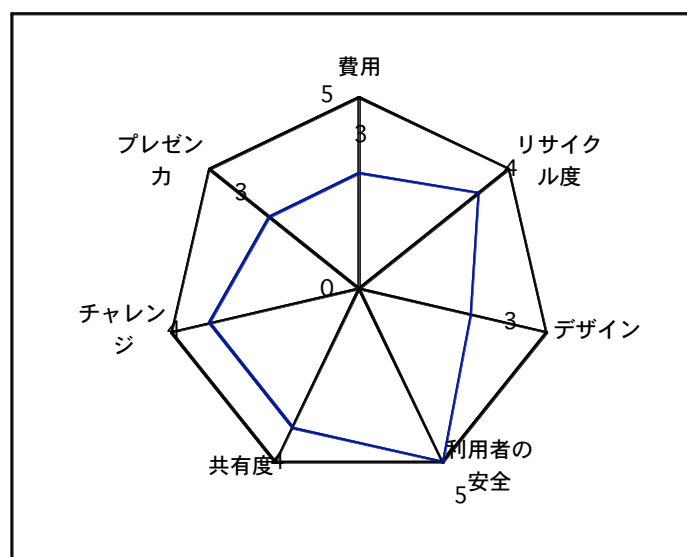
課題：幼稚園または小学校低学年を対象にした遊具／おもちゃの作成
(作品サイズは、1m×1m以内)

プロジェクト名：S A M B A～手作り楽器が奏でる音楽の世界～

対象年齢： 6歳～12歳

評価規準：1-5で評価

- 費用
- リサイクル度
- デザイン
- チャレンジ (計画と準備の緻密さ)
- 利用者の安全
- 共有度
- プレゼンカ (各クラスでのプレゼン)



スケジュール概要

日付	担当責任者 (各作業の責任者)	スケジュール
	リーダー	<ul style="list-style-type: none"> 各メンバーは、○日までにチーム作業に必要な行程をリーダーに提出する。 今後の連絡先などの交換。 どんなプロジェクトにしたいか、各自でブレインストーミングし、アイデアを出しまくる。
10/24		<ul style="list-style-type: none"> やる内容、決めた内容を全員で再確認する。 具体的な担当者を決める。
未定		<ul style="list-style-type: none"> 作業する (70%完成予定) グループ内の交流を深める。
11/14		<ul style="list-style-type: none"> 作業する (完成予定) できたものの安全確認 (時間があれば演奏練習)
未定		<ul style="list-style-type: none"> できた楽器の演奏練習、リハーサルも兼ね友人に発表
未定		(政策が間に合わなかったときのための予備日)
1/23		プレゼンテーション大成功

1. 費用

計画：必要な資材の予測

項目	予想金額 or リサイクル	予想調達先
カン	リサイクル	自分たちで飲む
牛乳パック×3	リサイクル	川端
米	リサイクル	永倉
コーヒーのカン	リサイクル	持っている人に貰う
ガチャポン	リサイクル	川端
段ボール	リサイクル	サンワ
あずき	100円	買う（サンワ）
バケツ	リサイクル	川端
装飾品	1000円	伊藤、山田

調査：調達先別の資材比較

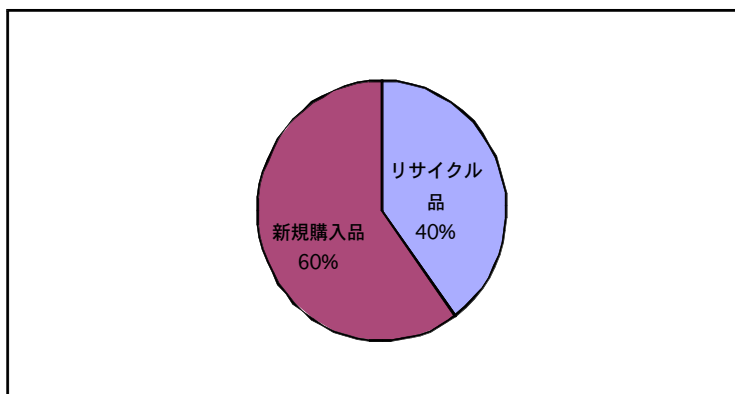
項目	実際価格 or リサイクル	調達先
カン	240円+リサイクル	自販機+ごみ箱から
牛乳パック×3	630円	コンビニ
米	30円	自宅（永倉）
コーヒーのカン	240円	コンビニ
ガチャポン	400円	スーパー
段ボール	リサイクル	スーパー
あずき	100円	スーパー
バケツ	100円	100円均一

実行：最終資材

項目	実際価格 or リサイクル	調達先
同上		

総費用：2240円

2. リサイクル度（割合で表示）



3. デザイン

資料（文献、インターネット情報、専門家からの伝授）など、最終デザインに行き着くまでのデザインの変容と修正理由などを残しておく）

日付	変更前デザイン	改善後のデザイン
10/24	別紙添付	数が多すぎるため、サンバホイッスル、スルドをやめた。 シロフォンの音階を調節するために水を入れる予定であったが、遊んでいる最中にこぼしてしまう恐れがあるので金槌でそこをへこませ音程を調節した。
11/14	おかたづけBOX、各楽器共に装飾がまばらであった	黄色とオレンジのフェルトで統一することで、明るく楽しいサンバのイメージをより強くした。
1/12	おかたづけBOXにフェルトで装飾し、中は段ボールで仕切りを作る	少し横にすると中のものが飛び出してしまうので専用のふたを製作した。 それと、どこにどれをしまったらいいのかわからなくなってしまうため、ふたの裏面にお片付けマップを製作、掲示した。

4. チャレンジ

改善点：

日付	改善前（どこに、どんな改善が必要か）	改善後（どう改善したか）
	タンバリンの強度を上げる	ビニールテープで固定
	おかたづけBOXの上に落下防止のふた（物が落下することで楽器がへこんでしまいシロフォンの音が変わってしまう）	綿の入ったふたを作製。 さらにひもで固定。
	片付ける際、元々何が入っていたのかわからなくなってしまう	おかたづけリストを作成。BOXのふたの上に掲示
	簡単に作れるので、作り方の本があった方がより良いと提案があった	作り方の本作製。ペンなど購入するのにお金をかけたくないため、フェルトで作り布絵本にする。

チームワーク：

チームプロジェクトから学んだこと	チームプロジェクトで苦労したこと
チームワーク（同調性、協調性）の大切さ	チームワークの作り方 良くも悪くもチームワークについて多く学んだ
他人の意見をしっかり聞くこと	意見の食い違い
普段は見れないその人の個性的な部分を垣間見れた	皆の都合が合わない中、時間を割いての作業

5. 利用者の安全

安全管理：予測可能なリスクを列挙し、そのためにどのような対策を練っているか書く。

想定できるリスク	リスク回避の方法	具体的に用意するもの(安全マニュアルなど)
タンバリンの鈴がとれて誤飲してしまう	鈴が取れないようにしっかり固定する	輪ゴムなどで補強
タンバリンの鈴で怪我をしてしまう	尖っている部分を金づちでへこませておく	金づち
各楽器の角などで怪我をする恐れ	やすりで角を丸くしておく	やすり
ガチャポンのマラカスの中身が出てしまう	今巻いているテープをさらに大きく巻く（音が鈍くなりすぎないように注意する）	テープ

6. 共有度

（どのような遊び展開が可能か？何人一人までが利用できるか？どのような遊びを提案できるか？）

4つの楽器を用意したので1～4人で遊ぶ。

簡単な打楽器から少し繊細な、音階のついた楽器まであるので、実際に遊ぶ子供たちのレベルに合わせて遊ぶ。

その楽器がぴったり入るように「お片付けBOX」を作ったので、遊んだあとは自分で片付けるという習慣を身につけてもらう。

7. プレゼンカ

報告計画：クラスでの報告、または担任への個別報告した内容と担任からの指導内容など

日時	報告担当者 (1人1回は報告)	報告内容(進行状況、課題、課題解決の方法案、今後の予定など)	担任からのアドバイスなど
10/17	川端	状況報告、作品案の説明、大まかな予定(メール)	もう少しまとまった予定を立てる。 珍しい楽器を作るので、楽器の説明書を作る
10/24	永倉	状況報告、今度の進行の方針の説明(具体的になにを作るか、コンセプトなど)	まだ話が漠然としすぎているため、もっと具体性のある計画を立てる。
10/24	山田	簡単なフォーマットの提出(メール)	
10/24	伊藤	簡単なフォーマットの提出(印刷したもの)	
11/21	中間プレゼン(全員)	作品の紹介(楽器の名前、使い方、演奏の仕方、何でどうやって作ったか) 実際に演奏(携帯電話で音楽を流しそれに合わせて演奏)	リサイクルはしているが元を辿ると買っているものが多いと指摘された。 また、携帯電話の音では小さすぎて遠くに いる人たちに聞こえにくい。 会場参加型にするのはいいがそれ頼みになりすぎている。